

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和 8年度

部局名 交流文化部

所属名 観光政策課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
観光レベルアップ事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成23年度	令和11年度	595	—			595	継続
「ふくい観光案内所」運営事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和5年度	—	18,285	—			18,285	継続
稼ぐガイドツアー商品造成事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和9年度	4,685	—	2,342		2,343	継続
コンベンション誘致促進事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和2年度	令和9年度	49,958	—			49,958	継続
福井を学ぶ体験旅行推進事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成22年度	令和9年度	56,744	—			56,744	継続
教育旅行民泊受入体制強化事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和5年度	令和10年度	7,065	—			7,065	継続
着地型観光バスツアー等定着支援事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和5年度	令和9年度	34,321	—			34,321	縮減
㊦DMOによる観光地域づくり推進事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和5年度	令和12年度	125,374	—	42,404		82,970	拡充
㊦観光DX推進事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和6年度	—	82,695	—	10,315		72,380	拡充
㊦持続可能な「稼ぐ観光バスツアー」支援事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和5年度	令和10年度	5,600	—			5,600	拡充
イベント開催による賑わいづくり支援事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和2年度	令和10年度	50,000	—			50,000	継続
JR越美北線魅力発信事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和6年度	令和8年度	2,297	—			2,297	継続
観光商談会開催事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	平成24年度	令和9年度	10,994	—			10,994	継続
㊦持続可能な観光スタイル推進事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和8年度	令和10年度	46,050	—	23,025		23,025	—
東尋坊活性化支援事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和2年度	令和10年度	656,400	—		396,000	260,400	継続
㊦多様な宿泊施設整備支援事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和5年度	令和11年度	320,000	—			320,000	拡充
新幹線時代の観光地域スケールアップ支援事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和5年度	令和9年度	351,090	—			351,090	継続
六呂師高原活性化事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和2年度	令和8年度	7,973	—	2,874		5,099	継続
三方五湖エリア活性化支援事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和3年度	令和7年度		—				廃止
中部縦貫自動車道県内全線開通スタートアップ事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				整理統合
稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和4年度	令和7年度		—				廃止

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和 8年度

部局名 交流文化部

所属名 観光政策課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
民宿魅力再発見調査事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				廃止
県内冬観光事業者への緊急支援事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				完了
交通事業者・福祉施設等への緊急支援事業	9 北陸新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				完了
					1,830,126		80,960	396,000	1,353,166	

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	平成23年度
観光レベルアップ事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	北陸新幹線開業効果の最大化・持続化、中部縦貫自動車道県内全線開通等を見据え、観光の持続的な発展に向けた観光施策の推進を図る。				
事業内容	令和6年度に策定した「ネクストふくい観光ビジョン」に基づき、本県の観光動向や取組み状況について、県内外の有識者（12名）から意見を伺い、本県の観光施策の推進に活用する。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	595	－			595
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	－	－	－	令和7年度
	活動指標	懇話会開催回数（回）	1	1	令和7年度
事業評価	<p>〈成果指標の設定ができない理由〉 会議を開催し有識者の助言を施策に取り入れるための事業であり、成果指標はなじまない。</p> <p>〈事業評価〉 専門的知見を有する外部有識者による懇話会を開催し、本県の観光振興に向けた幅広い提言を得た。有識者の視点を取り入れることで、より効果的な観光施策の推進につなげていく。</p>				
区分	継続				

	交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和5年度	
	「ふくい観光案内所」運営事業		事業終了年度	－	
事業目的	福井県に訪れた観光客に対し、多様なニーズに合った観光情報を提供し、安心して福井県内の観光を楽しんでもらうため、観光案内所を維持・運営する。				
事業内容	下記事業を行う観光案内所の維持・運営 (1) 所長、観光案内コンシェルジュの配置 (2) 情報収集・発信 (3) 各種チケット、クーポンおよび土産品等の販売 (4) 観光案内所設備の運用				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	18,285	－			18,285
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	－	－	－	令和7年度
	活動指標	－	－	－	令和7年度
事業評価	〈成果指標・活動指標の設定ができない理由〉 観光案内所を安定的に運営する事業であり成果を求めるべきものではないため、活動指標・成果指標を設定することが困難				
区分	継続				

	交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和7年度	
	稼ぐガイドツアー商品造成事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	観光事業者等による「稼ぐコンテンツ」の造成を支援するとともに、観光事業者等の人材育成を推進し、観光客の満足度向上および滞在時間の伸長を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなガイドツアーを造成したい事業者に対し、講師派遣 ・観光ガイドやガイドツアー造成事業社に対し、研修会・交流会を実施 ・旅行会社等を招いたモニターツアー実施 				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,685	－	2,342		2,343
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光消費額（億円）	1,700		令和11年（暦年）
	活動指標	コンテンツ造成数（本）	3	6	令和7年度
事業評価	<p>〈成果指標〉 令和7年の観光消費額の実績は令和8年6月頃に確定する予定</p> <p>〈活動指標〉 観光事業者等への積極的な働きかけにより、6件のコンテンツの造成し、目標を上回る成果を上げた。令和8年度も引き続き、観光事業者等の稼ぐガイドツアー造成を支援していく。</p>				
区分	継続				

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和2年度
コンベンション誘致促進事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	平日の宿泊旅行者や観光需要の平準化を目的に、国際会議や全国的な会議・学会等の誘致拡大に向けて、誘致活動の強化およびコンベンション主催者への支援等に取り組み、県内全域でコンベンション振興を図る。				
事業内容	(1) コンベンション開催助成金 補助上限 国内：9,000千円 国外：3,000千円 ※上記補助金額に加えて、現地参加者が1,000人以上の場合「大規模コンベンション加算」最大100万円（段階式助成）を上乗せ (2) コンベンション誘致・活用推進 ・コンベンション誘致職員の配置 ・営業活動 ・広報宣伝 ・MICE誘致のためのイベント出展 等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	49,958	－			49,958
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	コンベンション参加人数（人）	51,692		令和7年度
	活動指標	コンベンション開催件数（件）	80		令和7年度
事業評価	<事業評価> イベント出展などのコンベンション誘致活動や助成金支援を積極的に実施し、目標件数を上回るコンベンション開催を後押しした。7年度の成果指標・活動指標の実績は、R8.6月頃に確定する予定。 県内外から多くの人が集まるコンベンションの開催は地域に波及する経済効果が大きい。さらに社会的に影響力が大きいリーダー層が集まることで会議開催場所の知名度が上がり、地域の魅力を国内外に広める効果がある。本県への認知度向上やプライベートでの再来訪に寄与することから、令和8年度も引き続きコンベンション開催を支援していく。 <事業実績> コンベンション助成件数：64件（R8.1.15時点） コンベンション開催件数：105件（R8.1.15時点） コンベンション参加人数：42,135人（R8.1.15時点）				
区分	継続				

	交流文化部	観光政策課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	平成22年度	
	福井を学ぶ体験旅行推進事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	中部縦貫自動車道県内全線開通を見据え、教育旅行の県内受け入れ体制の充実と県外学生等の合宿の誘致拡大を図る。				
事業内容	<p>(1) 教育旅行誘致の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社・学校等への営業訪問 ・教育関係者・旅行会社の本県への視察招聘、商談会開催（関東・中京圏・関西圏） ・首都圏で修学旅行のシェアが高い大手旅行会社および学校の福井県での研修に対して助成最大25,000円/人 ・恐竜化石発掘や越前和紙の紙漉きなど体験にかかる費用の一部を学校に助成 1,000円/人・泊 ・修学旅行で本県に送客した旅行会社に対して、送客手数料として助成 500円/人・泊 ・県内事業者受入体制強化研修 <p>(2) 合宿誘致の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合宿誘致に向けたパンフレット作成、学生等の合宿にかかる宿泊料等の助成に対する支援 <p>事業主体： 市町 助成額： 宿泊費 500円/人泊 特別加算 500円/人泊 地域交流費 250円/人 補助率： 宿泊費 県1/2（市町1/2） 特別加算 県10/10 地域交流費 県10/10</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	56,744	－			56,744
事業評価指標	成果指標	内 容	目標	実績	備考
		【教育旅行】 県外からの教育旅行者数（人）	100,000		令和7年
	【学生合宿】 県外からの学生合宿者数（人）	44,010		令和7年度	
	活動指標	【教育旅行】 旅行会社等の送客人数（人）	6,000		令和7年度
【学生合宿】 合宿助成制度実施市町数（市町）		16	16	令和7年度	
事業評価	<p>○教育旅行推進 新幹線敦賀開業により、関東圏からの教育旅行需要が高まっており、年々関西圏からの教育旅行が増えてきている。ほか主要な教育旅行先の宿泊費や観光客の増加に伴い、北陸が新たな教育旅行先として注目されている。令和8年度も引き続き教育旅行誘致を推進していく。なお、成果指標および活動指標の実績はR8年6月頃に確定する予定 〈事業実績〉 教育旅行視察・研修助成 4社（R8.1.15時点） 旅行会社等の送客人数 3,310人（R8.1.15時点）※R6年度 2,621人</p> <p>○合宿誘致の推進 独自の助成制度がある池田町を除く全市町に対して助成を行った。成果指標の実績はR8年6月頃に確定する予定であるが、R8.1月時点で、学生合宿者数は34,300人となっている。</p>				
区分	継続				

	交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和5年度	
	教育旅行民泊受入体制強化事業		事業終了年度	令和10年度	
事業目的	教育旅行において需要が増加している嶺北の民泊を整備していくことにより、本県への教育旅行のさらなる誘致を図る。				
事業内容	<p>（一社）福井県旅行業協会を窓口とした嶺北における民泊誘致の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民泊受入家庭への個別訪問（打合せ）、研修会の開催 ・修学旅行生受入れ時のマニュアルの更新 ・旅行会社に対する提案資料の更新、充実 ・旅行会社からの予約対応（各家庭への連絡調整）、下見時等のサポート ・専用ホームページの更新や県外旅行会社や学校への営業などのプロモーション活動 ・民泊受入団体事務局業務の専任の雇用 				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	7,065	－			7,065
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	県外からの教育旅行者数（人）	100,000		令和7年
	活動指標	嶺北での民泊最大受入人数（人）	310	250	令和7年度
事業評価	<p>教育旅行目的の民泊需要が増加したことにより、民泊受入団体が多忙となり、同団体が十分に新規民泊受入家庭を増やす活動を行えなかった。</p> <p>しかしながら、7年度は奥越エリア初となる新規民泊受入家庭説明会を開催したため、今後民泊受入家庭および民泊受入人数の増加が期待される。</p> <p>旅費の高騰やオーバーツーリズム等の影響で、教育旅行の目的地を変える学校が増えており、福井県を中心とした北陸地方が注目されている。さらに都市部の生活では経験できない田舎暮らしが付加価値となり、年々受入人数が増えている。令和8年度も引き続き、民泊受入家庭への支援をしていく。</p> <p>なお、令和7年の成果指標（県外からの教育旅行者数）の実績は令和8年6月頃に確定する予定</p>				
区分	継続				

	交流文化部	観光政策課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和5年度	
	着地型観光バスツアー等定着支援事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	北陸新幹線福井・敦賀開業効果の最大化や、点在する本県の観光地を結ぶ二次交通手段確保を目的に、北陸新幹線駅等から県内の主要観光地を効率的に周遊できる着地型観光バスツアー等の定着を支援する。				
事業内容	<p>(1) 着地型観光バスツアー「はびバス」定着支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（定期観光バスツアー）首都圏向けの国内プロモーションの継続に加え、インバウンド向けの販路拡大を支援し、利用者の増大による運行の安定化を図る。 ・（貸切観光バスツアー）継続する ・支援項目：プロモーション関連費（営業費用、販売促進費用、訪日客対応研修費用、チラシ等の作成・配付等）、観光連盟事務費 <p>(2) あわら温泉・恐竜博物館直通「あわら恐竜号」運行支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あわら温泉～恐竜博物館直通バスの運行費用のうち、採算ラインの乗車人数を下回る場合に赤字部分の運行費用を県とあわら市で補助する（県1/2、市1/2）。また、システム使用料（県1/2、市1/2）および広報費（県10/10）についても補助する。 ・補助対象期間：令和8年4月3日（金）～令和9年3月31日（水）（金土日祝日・夏休み（お盆期間）・年末・春休み） 合計183日間 ・運行経費の補助上限額：1日あたり55,850円（県・市合算分） 				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	34,321	—			34,321
事業評価指標	成果指標	内 容	目標	実績	備考
		【はびバス】ツアー催行数（コース）	4		令和7年度
	【あわら恐竜号】乗車人数（人/日）	42		令和7年度	
	活動指標	【はびバス】ツアー造成数（コース）	16	25	令和7年度
【あわら恐竜号】運行本数（往復）		172		令和7年度	
事業評価	<p>〈はびバス〉 貸切観光バスツアーは、各社が積極的にコースを企画し、目標を上回る25コースを造成した。ツアー催行数の実績はR8年3月末に確定する予定。また、定期観光バスツアーの利用者も増加傾向にあり、令和8年度からはプロモーション関連費を見直した上で、支援額を徐々に縮減し、自走化を促していく。 （参考）ツアー催行数：7コース（R8.2時点）</p> <p>〈あわら恐竜号〉 7年度の実績はR8年4月頃に確定する予定。支援額を徐々に縮減し、自走化を促していく。 （参考）R7.4.4～R8.1.31（毎週金土日・祝日運行（合計145日間））において、往復合計4,023人が乗車 1日あたりの乗車人数は27.7人で採算ライン42人に未到達であるが、前年度同期の約1.2倍で前年度を上回っている。</p>				
区分	縮減				

	交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和5年度	
	㊦ DMOによる観光地域づくり推進事業		事業終了年度	令和12年度	
事業目的	福井県DMOが地域の観光を担うプレーヤー支援等を行うことにより、地域の稼ぐ力を引き出すとともに、地域が一体となって観光に取り組む基盤づくりを図る。				
事業内容	（公社）福井県連盟に対し下記事業にかかる経費を補助 （1）観光地域づくりマネージャーの設置 （2）観光ブランドアップ・スーパーバイザーの設置 （3）シニアコンサルタント（宿泊業）の設置 （4）地域の観光を担うプレーヤー支援 （5）観光教育推進事業 （6）他地域のモデルプレーヤーとのネットワーク構築 （7）観光事業者（シェフ等）誘致の支援 （8）観光地域づくり法人（DMO）登録制度に係るガイドライン改正への対応 （9）県・市町ネットワーク会議の開催				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	125,374	－	42,404		82,970
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光消費額（億円）	1,700		令和11年（暦年）
	活動指標	観光プレーヤー支援数（件）	80		令和7年度
事業評価	<p>地域の稼ぐ力を引き出し、持続可能な観光地域づくりを推進するため、観光地域づくりマネージャーや観光ブランドアップ・スーパーバイザー、外部専門家による助言指導、補助金による経済的支援、他地域の先進的なプレーヤー等のネットワークづくりのサポート、都市圏の観光事業者に対する本県への誘致支援、福井県観光アカデミーの開講等による人材育成など、様々な形でプレーヤーへの支援を行った。</p> <p>次年度はシニアコンサルタント（宿泊業）を設置してホテル誘致活動を支援することで、宿泊施設の増加を通じて、観光地域づくりを引き続き推進していく。</p> <p>なお、7年度の実績は令和8年6月頃に確定予定である。</p> <p>〈事業実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の観光を担うプレーヤー支援事業 観光資源の磨き上げや新規コンテンツ造成のための支援を行い、目標を上回った。 補助金支援の件数：実績12件（目標10件） ・外部専門家の派遣事業 プレーヤーの事業ブラッシュアップのため、希望の専門家とのマッチングを行った。 専門家の派遣件数：実績R8.4月頃確定予定（目標10件） ・観光教育推進事業 観光事業者やDMO職員を対象とした「福井県観光アカデミー」を開講し、観光ビジネスを実践する多様なプレーヤーの人材育成を行い、目標を上回った。 プレーヤーのアカデミー受講数：65名（目標40名） ・他地域のモデルプレーヤーとのネットワーク構築 他地域の先進的なプレーヤー等とのネットワークづくりのサポートを行い、プレーヤーの商品造成や事業のレベルアップに活用した。 プレーヤーへの情報提供等の件数：実績R8.4月頃確定予定（目標10件） ・観光事業者誘致の支援 都市圏の観光事業者（シェフ等のプレーヤー）への営業・現地視察を通じ、本県への飲食店の出店や移住意欲を喚起し誘致を促進していく。 プレーヤーの県内誘致の支援（交渉）件数：実績R8.4月頃確定予定（目標10件） 				
区分	拡充				

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和5年度
⑩ 持続可能な「稼ぐ観光バスツアー」支援事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	本県への観光旅行商品を企画する旅行会社に対し支援を行うことにより、新たな観光客の誘引を進め、加えて一年を通じた誘客促進や観光消費額の拡大を図る。				
事業内容	本県に宿泊し、かつ一定額の消費行動を行う貸切バスツアーを企画する旅行会社に対する支援 補助額 25,000円/台・泊（4月～11月、3月） 30,000円/台・泊（12月～2月） 特別加算：10,000円/台・泊（指定した条件の旅行商品造成の場合） 補助条件 ・貸切バスを利用して他都道府県民が福井県内を観光する10名以上の旅行商品 ・福井県内に1泊以上 ・福井県内の観光地を1泊につき2カ所以上訪問 ・福井県内の食事施設または土産物施設を1泊につき1箇所以上訪問かつ、1泊につき1箇所以上の施設で参加者1人あたり1,500円（税込）以上の消費				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	5,600	－			5,600
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光消費額（万円）	9,600		令和7年度
	活動指標	支援台数（台）	150		令和7年度
事業評価	〈成果指標・活動指標〉 実績はR8.3年月頃に確定する予定 〈事業評価〉 北陸新幹線開業によるピークが過ぎ、R8.1時点で支援台数112台と昨年度の146台よりも減少したが、観光消費額は約7,083万円と推定され、予算額に比べて一定の効果があると考えられる。制度利用新規の旅行会社も多数あり、補助をきっかけに新たな誘客へ繋がっている。8年度は、蕎麦ツーリズムやダムツーリズムなど、テーマ性のあるツアーに対して特別加算を設け、多様な観光商品の開発・販売を促し、新たな顧客層へのアプローチを実施する。 〈事業実績〉（1月時点） 助成件数：81件（うち新規利用：20件） バス台数：112台（うち新規利用：21台） 送客人数：2,843人泊（うち新規利用：423人泊）				
区分	拡充				

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和6年度
⑨ 観光DX推進事業				事業終了年度	－
事業目的	福井県観光連盟（都道府県DMO）による市町や地域の観光事業者にとって必要な情報を収集するシステム（FTAS）の構築等を支援し、本県への観光客の誘致等を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートデータシステム運用 ・ 定量的データ（宿泊予約データ等）収集システム運用 ・ 生成AI分析実装費 等 				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	82,695	－	10,315		72,380
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	FTASページユーザー数(人)	4,950		令和7年度
	活動指標	FTAS勉強会の実施（回）	4	5	令和7年度
事業評価	<p><成果指標> 実績はR8年3月末に確定する予定 宿泊予約データの収集エリアの追加（三方五湖エリア）により、FTAS上で閲覧できる情報量が増加したこと、生成AI分析機能のテスト導入によるデータ分析の負担軽減、勉強会でのFTAS活用事例の周知により、事業者のFTAS活用のハードルが下がった。これにより、FTASの利便性が評価され、2月時点で目標を大きく上回っている（7,184人）。</p> <p><活動指標> FTASの認知拡大と活用度向上を目指し、市町・観光協会・県内事業者を対象にした勉強会を5回実施し、延べ200名以上が参加。内容も従来の分析結果の共有に加え、AI分析の紹介やFTAS活用事例の共有など、より実務で使える内容にアップデートした。</p> <p><8年度の方向性> FTASの利便性をさらに向上するため、8年度は、定量的データ（宿泊予約データ等）収集システムの対象エリアを拡大するとともに、生成AIを使ったレポート作成・配信の実装を行う。</p>				
区分	拡充				

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度																		
3	楽しみを広げる（創造力）			経費区分	政策的経費																		
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化			事業開始年度	令和2年度																		
イベント開催による賑わいづくり支援事業				事業終了年度	令和10年度																		
事業目的	県内外からの誘客につながる大規模音楽フェスを地域に根付かせ、本県の自然景観、歴史、文化、食、伝統工芸などの魅力を音楽の力とともに発信し、賑わいの創出および観光消費活動の促進を図る。																						
事業内容	<p>(1) 大規模野外フェスの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象者 県内の民間事業者 ・補助上限額 10,000千円 ・補助率 1/3以内 ・採択件数 5件 <p>(支援イベントの採択基準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然景観、歴史、文化、食、伝統工芸などの唯一無二の福井の魅力を全国に発信 ・県内観光地か県内新幹線駅から徒歩圏内で開催 ・主催者が興行を生業としていない団体 ・5,000人以上集客する大規模音楽フェス ・HPなどにおいて、県内の観光地および宿泊施設を紹介すること 																						
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源																		
	50,000	－			50,000																		
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考																		
	成果指標	イベント入込数（人）	40,000	70,700	令和7年度																		
	活動指標	支援件数（件）	5	5	令和7年度																		
事業評価	<p>〈事業評価〉 フェス（5件）を支援した。うち、3件は継続支援であり、認知度向上により、イベント入込数が目標値を上回った。</p> <p>〈事業実績〉</p> <table border="0"> <tr> <td>ワンパークフェスティバル</td> <td>グリーンフラッシュフェス</td> </tr> <tr> <td>・開催日 令和7年9月6日、7日</td> <td>・開催日 令和7年5月31日</td> </tr> <tr> <td>・来場者数 2日間で延べ35,000人</td> <td>・来場者数 10,000人</td> </tr> <tr> <td>おぼろっく</td> <td>鯖江JAZZフェスティバル</td> </tr> <tr> <td>・開催日 令和7年9月13日、14日</td> <td>・開催日 令和7年10月18日、19日</td> </tr> <tr> <td>・来場者数 8,000人</td> <td>・来場者数 8,700人</td> </tr> <tr> <td>六呂師Starry Music Festival</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・開催日 令和7年8月30日、31日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・来場者数 9,000人</td> <td></td> </tr> </table>					ワンパークフェスティバル	グリーンフラッシュフェス	・開催日 令和7年9月6日、7日	・開催日 令和7年5月31日	・来場者数 2日間で延べ35,000人	・来場者数 10,000人	おぼろっく	鯖江JAZZフェスティバル	・開催日 令和7年9月13日、14日	・開催日 令和7年10月18日、19日	・来場者数 8,000人	・来場者数 8,700人	六呂師Starry Music Festival		・開催日 令和7年8月30日、31日		・来場者数 9,000人	
ワンパークフェスティバル	グリーンフラッシュフェス																						
・開催日 令和7年9月6日、7日	・開催日 令和7年5月31日																						
・来場者数 2日間で延べ35,000人	・来場者数 10,000人																						
おぼろっく	鯖江JAZZフェスティバル																						
・開催日 令和7年9月13日、14日	・開催日 令和7年10月18日、19日																						
・来場者数 8,000人	・来場者数 8,700人																						
六呂師Starry Music Festival																							
・開催日 令和7年8月30日、31日																							
・来場者数 9,000人																							
区分	継続																						

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる(創造力)				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和6年度
JR越美北線魅力発信事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	JR越美北線および沿線観光施設において、キャラクターを起用した謎解き宝探しイベントや越美北線PRロゴステッカーの維持管理を実施することで、県内外から観光客の誘客促進を図り、JR越美北線の観光利用に繋げる。				
事業内容	(1) キャラクターを活用した謎解き宝探しイベントの開催 (2) 越美北線車両の越美北線PRロゴステッカーの維持管理				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,297	-			2,297
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	越美北線観光利用者増加数(人)	80		令和7年度
	活動指標	SNS投稿本数(本)	6	7	令和7年度
事業評価	YouTubeとInstagramそれぞれの媒体特性を活かした投稿を実施したこと、起用したインフルエンサーに、当初予定していたYouTubeとInstagramでの投稿だけでなく、Xでも投稿を実施してもらったことなどにより、活動指標を目標どおり達成。 また、成果目標については、11月時点で、目標の80人を上回る153人の利用があった。(R7年度の最終実績は、R8年3月頃に確定する予定)				
区分	継続				

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	平成24年度
観光商談会開催事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	首都圏、関西・中京圏において、県内の観光産業関連事業者と現地の旅行会社のキーマンと商談する機会を提供する。				
事業内容	県内の観光産業関連事業者が、現地の旅行会社のキーマンと商談する機会を設定し、本県観光に関する説明（プレゼンテーション） および観光産業関連事業者による個別具体的な商談を実施 【実施方法】対面方式 開催場所：東京（上期・下期）、大阪、名古屋				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	10,994	－			10,994
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	旅行会社の参加者数（人）	200		令和7年度
	活動指標	商談会開催数（回）	4	4	令和7年度
事業評価	〈事業評価〉 県内事業者が単独で複数の旅行会社にアポをとることは難しいことを踏まえ、年4回の商談会を実施。商談会の場を利用することで1日で10社以上の旅行会社と商談が可能となり、新たなツアー造成や誘客に繋がった。なお、成果指標の実績はR8.3年月頃に確定する予定 〈事業実績〉 大阪観光商談会（対面） 県内事業者数 51団体 74人 旅行会社 32社 63人 名古屋観光商談会（対面） 県内事業者数 40団体 53人 旅行会社 29社 41人 東京観光商談会（対面）上期 県内事業者数 41団体 54人 旅行会社 39社 59人 東京観光商談会（対面）下期（予定） 県内事業者数 41団体 49人 旅行会社 36社 57人				
区分	継続				

	交流文化部	観光政策課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和8年度	
	⑨ 持続可能な観光スタイル推進事業		事業終了年度	令和10年度	
事業目的	観光客がより快適に過ごせる環境づくりを進める。加えて、今後人口減少を踏まえ、観光分野におけるデジタル技術活用による業務の効率化・省人化や、観光地に位置する遊休施設等の再活用を進めるとともに、季節や曜日に偏りがちな旅行需要の分散を支援し観光客の平準化を促進し、持続可能な観光体制の構築を目指す。				
事業内容	<補助対象> ①通年で楽しめる観光需要の平準化（早朝・夕方観光・夜間開館、閑散期限定イベント等） ②観光プラットフォームの構築、業務効率化・省人化の推進 ③観光施設等の新設・改修、観光客の利用環境の改善、遊休施設等の観光資源化				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	46,050	－	23,025		23,025
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	観光消費額（億円）	1,700		令和11年（暦年）
	活動指標	支援件数（件）	12		令和8年度
事業評価	－				
区分	－				

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和2年度
東尋坊活性化支援事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	県外での認知度も高く、本県で最も観光客が訪れる東尋坊において、新しい魅力づくりや東尋坊全体の活性化を支援し、本県を代表する観光地としてスケールアップを図る。				
事業内容	東尋坊再整備基本計画に基づく活性化事業への支援 (1) ハード整備への支援 駐車場集約・一元化、県道・市道改修、ビジターセンターの整備 等 (2) ソフト事業への支援 商店街の活性化・新規商品の開発 等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	656,400	－		396,000	260,400
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	東尋坊観光客入込数（千人）	3,000		令和10年
	活動指標	再整備工事完了（％）	50%	－	令和7年度
事業評価	<事業評価> 令和7年度は再整備工事の中間年度である。そのため成果指標（3,000千人）に対する実績は令和10年以降に確定する予定。また、令和7年度の活動指標はR8.4月に確定する予定。 <事業実績> 駐車場一元化工事：全体進捗の4割完了、商店街リニューアル：19件/22件完了 ソフト事業：東尋坊マルシェを開催し、約4,500人が参加				
区分	継続				

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる(創造力)				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和5年度
㊦ 多様な宿泊施設整備支援事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	北陸新幹線や中部縦貫自動車道全線開通による効果を最大化し、本県へのさらなる誘客、滞在時間の延長および観光消費額の増加を図るため、宿泊施設の魅力向上や受入環境の整備を支援する。				
事業内容	(1) 多様な宿泊施設整備支援事業(県1/3、市町1/3、事業者1/3) サイクリストに優しい宿、ペットと泊まれる宿、本県の観光資源を活用した伝統工芸ルーム、温泉改修等、来県の目的となるような魅力的な宿泊施設の整備にかかる経費を補助 ①一般枠(補助率)1/2(県補助上限額)5,000千円/件 ②新規開業枠(補助率)1/2(県補助上限額)10,000千円/件 (2) 旅の目的となる上質な宿泊施設整備支援事業(県1/2、事業者1/2) 事業者に対して、専門家チームにより計画された宿への改修費を補助 (補助率)1/2(県補助上限額)60,000千円/件				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	320,000	-			320,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内延べ宿泊者数(万人)	450		令和11年(暦年)
	活動指標	支援採択数(件)	35	27	令和7年度
事業評価	<事業評価> ・伝統工芸を取り入れたコンセプトルームやペットと泊まれる宿、サイクリストに優しい宿など、10市町27施設 の取組の支援を行った。 ・多様な魅力的な宿泊施設を整備し、新幹線開業による宿泊需要の高まりを背景に新規で宿泊業を始めようとして いる事業者の支援に繋がっている。なお、成果指標の実績はR8.6年月頃に確定する予定 <事業実績> 一般枠・・・21施設 新規開業枠・・・5施設 旅の目的枠・・・1施設				
区分	拡充				

	交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和5年度	
	新幹線時代の観光地域スケールアップ支援事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	北陸新幹線や中部縦貫自動車道全線開通による効果を最大化するため、伝統工芸や禅など、多くの人を惹きつける本物の価値をもつ観光素材を活かして観光地域を高付加価値化し、さらなるスケールアップを図ることにより、観光客の滞在時間の伸長、観光消費額の増加につなげ、より稼げる観光地づくりを進める。				
事業内容	<p>補助要件 以下のすべてを満たすこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県の「本物」の価値を持つ観光素材を活かし、観光地の高付加価値化、観光消費額増加を図る取組みであること ・ 観光地域内のまち歩きを推進する取組みであること ・ 市町が地域DMO、観光協会、地域の民間事業者等と連携し整備事業計画を策定すること ・ 計画の下、宿泊事業者を含む複数事業者・団体が事業を進め、観光地域づくりを行うこと ・ 観光地域内の滞在時間伸長、観光消費額増加に資するソフト事業を展開すること <p>補助対象者 (計画策定)市町（市町間連携を含む） (ハード・ソフト)市町（市町間連携を含む） ※民間事業者への間接補助を含む</p> <p>補助上限額 (計画策定) 2, 5 0 0 千円／事業 (ハード) 1 0 0, 0 0 0 千円／事業 (ソフト) 1 5, 0 0 0 千円／事業</p> <p>補 助 率 (計画策定) 1 / 2 以内 (ハード・ソフト)補助対象経費 1 / 3 以内（国庫活用の場合は市町負担経費 1 / 2 以内）</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	351,090	－			351,090
事業評価指標	内 容	目標	実績	備考	
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000		令和11年（暦年）
	活動指標	支援件数（件）	7	6	令和7年度
事業評価	<p>〈事業評価〉 令和5年度から6年度にかけて全7市町の事業を採択した。各市町の計画に基づいてハード整備・ソフト事業をすすめており、令和7年度の成果指標である観光客入込数の実績の確定はR8.6月頃</p> <p>〈事業実績〉 令和7年度は、5市町6件分の計画策定・ソフト・ハード支援を実施（繰越分含む） 越前市・・・和紙の里通りの整備 あわら市・・・湯のまち広場の空間デザインの設計 坂井市・・・詳細設計を担う専門的の経費を支援 越前町・鯖江市・・・まちづくりの協議会をそれぞれ年複数回開催し、計画策定完了</p>				
区分	継続				

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和2年度
六呂師高原活性化事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	六呂師高原の新たな誘客の柱の検討や六呂師高原内の各施設レベルアップ等を図り、中部縦貫自動車道の開通効果の最大化と地域の活性化を目指す。				
事業内容	(1) 周遊観光推進に向けたモニターツアーの実施 (2) デジタル恐竜化石発掘体験の実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	7,973	－	2,874		5,099
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	六呂師高原観光客入込数（千人）	280		令和8年
	活動指標	会議回数（回）	8	8	令和7年度
事業評価	<p>〈成果指標〉 実績はR8.7年月頃に公開される予定</p> <p>〈活動指標〉 目標どおり、六呂師高原活性化会議（県・市・事業者）を8回/年開催し、誘客策の検討を行った。会議での意見を踏まえ以下の事業を実施した。 ・デジタル恐竜発掘体験コンテンツ（R7～）・・・利用者1,422名</p> <p>（参考）稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業補助金（R7年度）（大野市1/2補助） ・子供が楽しめる大型ブランコやネットトランポリン等を設置し、にぎわいを創出</p>				
区分	継続				

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和3年度
三方五湖エリア活性化支援事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	北陸新幹線開業時の重要な交流拠点となる三方五湖エリアにおいて、県・町・地元が一体となって観光の目玉づくりを加速させ、誘客促進を図る。				
事業内容	観光拠点のレベルアップ レインボーライン景観維持				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,000	－			1,000
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	－	－	－	令和7年度
	活動指標	－	－	－	令和7年度
事業評価	〈成果指標・活動指標の設定ができない理由〉 景観維持のための伐木（年1回）であるため、定めることは困難				
区分	廃止				

	交流文化部	観光政策課	事業年度	令和7年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和7年度	
	中部縦貫自動車道県内全線開通スタートアップ事業		事業終了年度	令和7年度	
事業目的	中部縦貫自動車道県内全線開通に向けて、市町の観光商品造成状況や観光課題について情報交換を行い、誘客施策の効果最大化を図る。				
事業内容	市町観光課および観光協会との観光商品造成に係る情報交換会、県内コンテンツ視察の実施 （主な参加者）県観光政策課、県インバウンド課、県誘客推進課、県観光連盟、17市町の観光主管課、17市町の観光協会 （実施内容） 例：講師（観光団体代表者等）による観光課題や商品造成に関する講演の実施 グループディスカッションでの現状・課題等意見共有 旅行会社を招聘してのコンテンツ造成への相談会				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	608	－	304		304
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	会議参加者数（人）	60		令和7年度
	活動指標	ネットワーク会議回数（回）	2	2	令和7年度
事業評価	〈事業評価〉 市町観光課および観光協会との観光商品造成に係る情報交換会や課題共有のグループワークを実施し、交流に繋がった。なお、7年度の成果指標の実績はR8.3月頃に確定予定 〈事業実績〉 市町観光ネットワーク会議：2回				
区分	整理統合				

	交流文化部	観光政策課	事業年度	令和7年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和4年度	
	稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業		事業終了年度	令和7年度	
事業目的	北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、JR西日本・福井県・旅行会社の連携による観光開発プロジェクトを実施することが決定した（令和3年）。 本プロジェクトにより、本県を周遊する旅行商品造成を進め、観光消費額の増加、県内周遊観光促進を図る。				
事業内容	(1) 旅行商品造成にかかる支援 補助対象 ①体験メニュー、アクティビティ等の開発および観光素材の磨き上げ ②観光施設等の改修や備品の追加・更新（新規整備は対象外） (2) 旅行会社の県内視察支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	50,500	－	25,250		25,250
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000		令和11年（暦年）
	活動指標	支援件数（件）	6	6	令和7年度
事業評価	〈成果指標〉 令和7年の観光入込数の実績は令和8年6月頃に確定する予定 〈活動指標〉 観光コンテンツ造成や既存施設の改修等の市町の事業を支援するとともに、旅行会社の県内観光地視察や旅行商品造成を促進。				
区分	廃止				

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和7年度
民宿魅力再発見調査事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	民宿の稼働率が低い要因を定量、定性的に調査・分析し、魅力を発見するとともに、民宿の稼働率向上のために必要なアプローチを検討する。				
事業内容	民宿を有する他県の観光客等を対象とした現地調査（1,200人程度） 民宿を有するエリアにある福井の民宿に近い立地場所において、調査を実施（関西・中京・北陸（福井を含む）） 〈調査項目〉 ①属性（性別・年代・同行者等） ②現地の民宿を選んだ理由 ③民宿のイメージ ④福井県の認知・来訪意向 など				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,092	－			3,092
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	－	－	－	－
	活動指標	民宿調査の回答者数（人）	1,200	1,400	令和7年度
事業評価	〈成果指標の設定ができない理由〉 民宿に関する調査事業であり成果を求めるべきものではないため、成果指標を設定することが困難。 〈事業評価〉 民宿の利用者の属性やイメージをWEBアンケートで調査。民宿の認知度不足・イメージ向上が必要との調査結果を得られた。本調査結果を関係団体に共有し、今後の施策に活かす。				
区分	廃止				

	交流文化部	観光政策課	事業年度	令和7年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	北陸新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和7年度	
	県内冬観光事業者への緊急支援事業		事業終了年度	令和7年度	
事業目的	電気・燃料価格の高騰が冬季観光事業者の運営に影響を及ぼしていることを踏まえ、その高騰分を支援することで県内スキー場・スケート場の安定的な運営を確保する。				
事業内容	令和3年度からの電気料・燃料価格の上昇分に対して支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	7,805	－	7,587		218
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	スキー・スケート場入込数（千人）	200		令和7年度
	活動指標	補助事業者数（社）	3		令和7年度
事業評価	<成果指標> 実績はR8年6月頃に確定する予定 <活動指標> 実績はR8年3月末に確定する予定				
区分	完了				

		交流文化部	観光政策課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる(創造力)				経費区分	政策的経費
9 北陸新幹線効果を最大化・持続化				事業開始年度	令和7年度
交通事業者・福祉施設等への緊急支援事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	新幹線開業で増加している観光客等の移動手段を確保・維持するため、貸切バス・観光遊覧船事業を継続している事業者等に対し、令和7年度における燃料価格の高騰分(経費増加)を支援することにより、県内観光バス・観光遊覧船事業の安定した運営につなげる。				
事業内容	(1) 燃料価格高騰分に対する支援 ①貸切バス 6,750円/台 ※対象車両数630台分 (4,253千円) ②観光遊覧船 90,000円/隻 ※対象船体数8隻分 (720千円)				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,973	-			4,973
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	稼働可能車両数・船体数(台・隻)	603	603	令和7年度
	活動指標	支援事業者数(社)	45	45	令和7年度
事業評価	燃料価格高騰により影響を受けた事業者を支援することで、安定した運営につなげることができた。 <事業実績> ①貸切バス 595台分 4,016,250円 ②観光遊覧船 8隻分 720,000円				
区分	完了				